

登山 ハイクンダ

黒ぐろとした宝
永山も足もとに

◆富士山

▽12月16日▽静岡・三島勤
労者山岳会⇨中村ヨシエ(西
三、後藤隆徳(西三)

16日5時、中村の車で下土
狩を出発。御殿場口から長田
尾根経由で頂上を目指すこと
にする。このルートは二合目
から頂上までの標高差は実に
2400mもあり、わが会でも
ほとんどの人が登っていない。

6時、二合目駐車場へ。同
10分出発。まだ薄暗く、ヘッ
ドランプをつけるが、このあ
たりに雪はあまりない。快晴
無風。6時半、三島在住の会
員Y、下土狩在住のOとアマ
チュア無線で交信し、出発を
連絡する。

三合目下の測候所小屋から
アイゼンを使用するが、まだ
雪は全体的に少なく、北側斜

面に目立つ程度だ。暖かい陽
光の小春日和のなかでの登山
となる。

ドドドドーン、パチパチパ
チッ。アイゼンの音以外しな
い富士のしじまを破る東富士
演習場の砲音。真つ黒な煙が
すそ野に広がっていく。いつ
までも安心して登山できる平
和な日本を願いたい。

われわれの前後に各2人の
登山者がいるが、前の1人は
調子の悪い人を置いて先にい
ったようである。

カチカチに凍っている長田
尾根の右の沢を快適に登りつ
めると、すでに黒ぐろとした
宝永山も足もとになり、12時
ようやく七合二勺の小屋へ着
く。ここで昼食とし、仕事で

御殿場へきているYと定時交
信。これから頂上アタックと
告げると、あたたかい励まし
のメールを送ってきた。

上から1人下ってきた。先
ほど先行していた青年だ。こ
こから思ったより時間がかか
るといつていた。

パートナーのジャムパンと
コーヒーで元気をつけ出発。

風も強くなってきたので、
手袋を交換し、フードもかぶ
る。ルートははつきりしてい
て、手すりぞいに登る。後ろ

の2人はあきらめたらしい。
頂上は近く見えるが、思うよ
うに近づかない。もつとも右
稜(りょう)線の吉田ルート
の頂上付近の傾斜を見れば、
それも理解できるところだ。
尾根上にとりどころだ。
1チカ状の風よけがあり、あ
りがたい。

直下で小休止し、一気に頂
上を目指す。14時45分ようや
く三七七六の富士山頂に立
つ。握手。風は強いが快晴。
地球が丸く見える。Yと交信
するがうまくいかない。

記念写真を撮り、早々と同
ルートを下降。三合目あたり
で暗くなり、ヘッドランプを
出す。17時、心配しているで
あろうYをと懸命に無線でコ
ンタクト。ようやくつなが

り、家に無線で連絡してもら
い、一安心。18時二合目の車
着。長い一日は終わった。

(後藤隆徳)